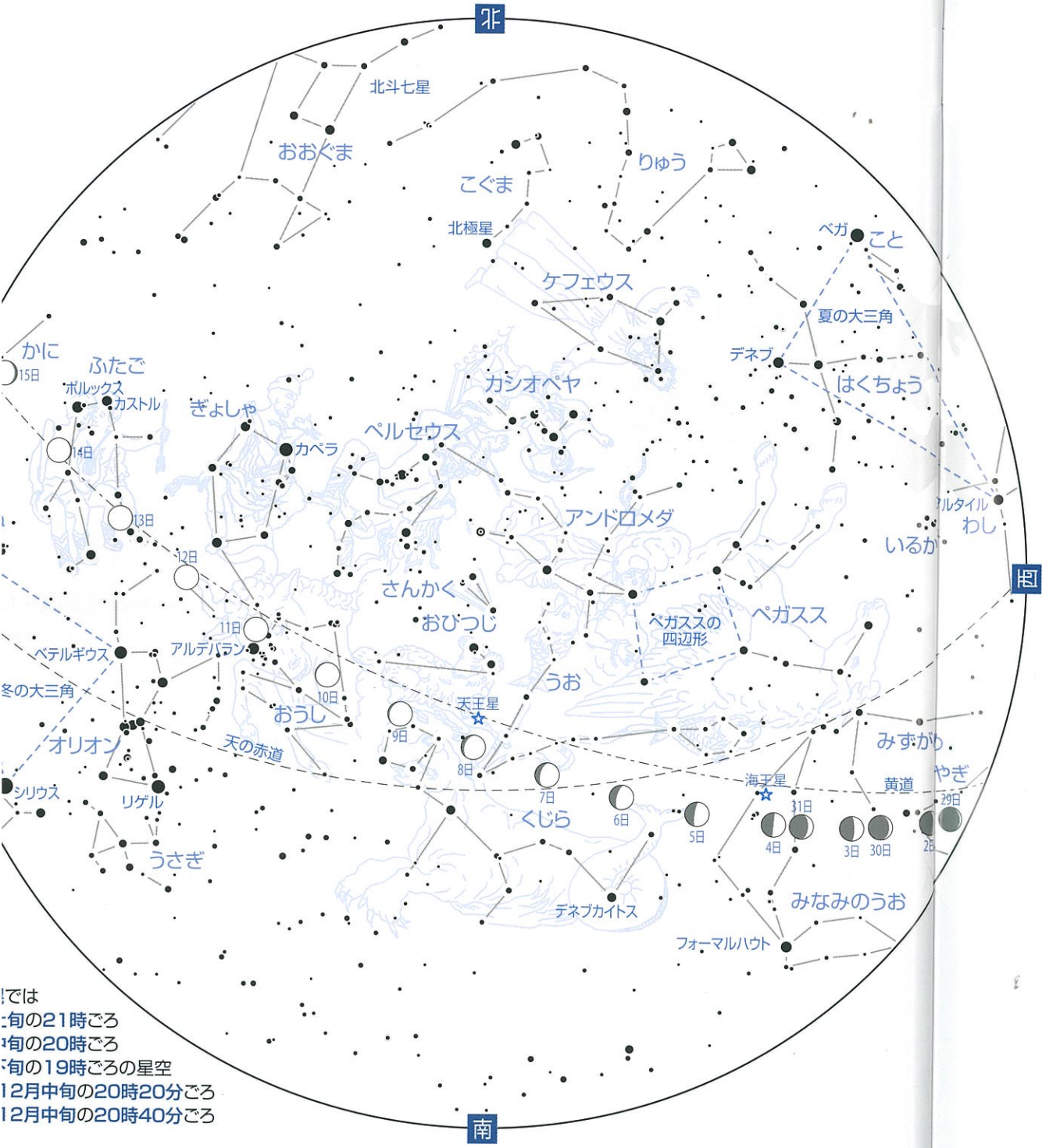


寒くなり星見には防寒が必須の季節となってきた。ふたご座流星群は毎年安定した出現が見込める。2019年は残念なことには12日が見込めなかった。ふたご座流星群の極大は15日未明の月過ぎの明るい月がほぼ一晩中夜空を照らしている。はかき消されてしまうだろう。なるべく月を視界に

入れないように工夫して、月光が散乱しない空が澄んだ場所へ出かけてみよう。宵の空では金星と土星が接近している。最接近は11日で、こちらは月明かりがあってもじゅうぶん楽しめる。そして26日には2019年2度目の日食が起こるので、1月に使った日食めがねは捨てずにとっておこう。日本では部分日食だが、インドネシアなどでは金環日食となる。



12月15日
 12月14日
 12月13日
 12月12日
 12月11日
 12月10日
 12月9日
 12月8日
 12月7日
 12月6日
 12月5日
 12月4日
 12月3日
 12月30日
 12月29日
 12月28日
 12月27日
 12月26日
 12月25日
 12月24日
 12月23日
 12月22日
 12月21日
 12月20日
 12月19日
 12月中旬の20時20分ごろ
 12月中旬の20時40分ごろ